



糸魚川市立磯部小学校

所在地 糸魚川市大字筒石 500

校長 増村 浩一

教頭 橋本 晃

☎ 025(567)2200 Fax 025(567)2902

Email isobesho@itoigawa.ed.jp

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- S44 磯部地区 6 か校が統合（筒石、徳合、仙納、藤崎、大洞、百川）
- S45 実質統合により、校舎新築・落成
- S61 優良 P T A 文部大臣表彰受賞
- S63 高速北陸道のトンネル工事に伴う土砂により、グラウンドを整備
- H6 筒石漁協の協力による地引網体験活動の開始
- H23 旧磯部中学校体育館を本校体育館として使用開始
- H25 校舎改築工事により新校舎完成体育館改修工事完了
- H30 創立 50 周年記念式典挙行
- R1 優良 P T A 文部科学大臣表彰受賞

(2) 教育課題

- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 互いを認め合い尊重する心や態度の育成
- 安全教育・防災教育・特別支援教育の推進
- 生活習慣の改善や体力向上への支援
- 自ら、課題や問題の解決に取り組む主体性の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「学び続ける子 互いに認め合う子
健やかに育つ子」

(2) 求める子どもの姿

- ふるさと磯部を愛する子ども
- 自ら学び、対話により考えを広げ、深める子ども
- 思いやりをもって、共に行動できる子ども
- 運動に親しみ、よりよい生活習慣を築ける子ども

(3) 重点目標達成のための方策

「学びプロジェクト」「心・体プロジェクト」、
の二つのプロジェクトで具体的な取組事項と評価項目を協議・検討し、実践を推進する。

【確かな学びに向けた方策】

- 共に考え、学び、様々な視点で考えを深める授業の実施
- 『ふるさと磯部（人・もの・こと）』を中核としたキャリア教育の推進

2022 年度学級編制

学年	1	2	3	4	5	6	特	計
学級	1		1		1		0	3
男子	1	2	3	0	3	3	0	12
女子	2	2	3	3	2	1	0	13
計	3	4	6	3	5	4	0	25

- 望ましい学習習慣の定着

- 『学力向上いといがわプラン』の推進と効果の検証

【豊かな心・健やかな体に向けた方策】

- かかわり合い、互いのよさを認め合う活動の実施
- 気持ちのよいあいさつと相手の気持ちを考えた言葉遣いの定着
- 家庭と連携して行うメディアとの適切な付き合い方の確立
- 進んで体を動かそうとする態度の育成

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

- ・ 自ら学び、自ら表現し、考えを深め合おうとする意欲を高め、基礎・基本の定着とともに、思考力・判断力・表現力等を育てる。

(2) 特別の教科 道徳

- ・ 「考え、議論する道徳」の充実に向け、道徳的価値に関する体験活動や問題解決学習などを効果的に取り入れ、価値の主体的自覚を促す指導に努める。

(3) 外国語活動

- ・ 外国の言語や文化への興味・関心を高めるとともに、異文化への理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

- ・ 主体的に人・もの・ことと関わり、自ら課題をもち、探究的・協同的に解決しながら、進んで自分の思いや願いなどを表現する力を育てる。課題を見付け、主体的に解決していく力を育てる。

(5) 特別活動

- ・ 児童一人ひとりが自分の考えをもって参加し、合意形成を図りながら、進んで活動しようとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

- ・ 自他のよいところに気付き、互いに認め合う子の育成
- ・ 社会性を身に付け、望ましい人間関係を結ぶ子の育成
- ・ 不登校やいじめのない学校づくりの推進

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 助け合い、励まし合う温かい学級集団の育成に努める。
- 毎月、心のアンケートを実施後、教育相談を行い、いじめや児童の悩みや困り感など児童の実態に寄り添い指導にあたる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「自ら学び、表現し、考えを深める子の育成」
～周りの人たちと共に考え、学び、様々な視点で考えを深める授業づくり～

(2) 研究の内容

- 授業研究（①対話のための技能の向上、②対話を広げ・考えを深めるための視覚的ツールの活用、③糸魚川市授業改善チェックリストによる授業の評価、④学力向上といいがわプランの推進）
- 日々の教育活動における対話のための技能向上と目指す姿の明確化と共有
- 国語科と生活科、総合的な学習の時間を有機的につなげる単元づくり

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、中学校区での共通取組事項でもあるキャリア教育と関連づけて、地域素材や地域講師を活用し、児童がふるさとへの誇りと愛着をもつことができるようにする。

- ①低学年…動植物を育てる活動を通して動植物も自分と同じように生きていることに気付くとともに、命を大切にすることができるようになる。
- ②中学年…磯部地区の自然やそこに暮らす人々の暮らしを学ぶことにより、地域のよいところに気付き、地域を好きになる。
- ③高学年…地域の産業（農業、漁業、観光）について自然環境や人材から学ぶことを通して、現在、そして未来の磯部地区について考え、発信する。

(2) キャリア教育

ふるさとへの愛着をもち、自分のよさや特性に気付き、将来への夢や希望をもち、その実現に向けて主体的に学び続ける児童を育成する。

- ①低学年…係や当番の仕事など自分の身の回りのことを友だちと協力し最後までやる。
- ②中学年…社会科や総合的な学習の時間での地域探検や地域の人との交流から、地域に興味を持ち、働くことの大切さに気付く。
- ③高学年…地域の特色やよさを理解し、愛着を持って地域の人、もの、ことに関わり、進んで地

域活動等に取り組む。

(3) 特別支援教育

個別指導計画と個別の教育支援計画を作成し、児童の特別な教育的ニーズに応えた指導を行う。校内委員会を定期的に関き、保護者や関係機関と連携し、全校体制で取り組む。

(4) 学力向上といいがわプラン

朝学習として、「音読・計算・漢字学習」の3取組を実施する。帯時間帯を設定し、1限の学習（国語）へと継続する。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 3 ○養護教諭 1
- 事務主事 1 ○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】 14名

- 地区協議会長、地区公民館長、区長
- 民生委員・児童委員代表、学識経験者
- PTA、地域支援コーディネーター他

【CSとしての課題】

- 少子化、高齢化する地域を活性化する事業の取組
- 学校の課題と地域の課題を明確にしながら、実現可能な教育活動の展開

【日課表】

	月	火	水	木	金
8:05~ 8:15	朝の会				
8:15~ 8:30	学力向上といいがわプラン				
8:30~ 9:15			1	限	
9:20~ 10:05			2	限	
10:05~ 10:25	20分休み				
10:25~ 11:10			3	限	
11:15~ 12:00			4	限	
12:00~ 12:35	給食				
12:40~ 13:20	昼休み（月曜 13:10まで）				
13:20~ 13:35			清	掃	
13:40~ 14:25	下記参照	5			限
14:25~ 14:40		帰りの会			
14:40~ 15:25		6			限
【月曜のみ】	5限 13:15~14:00/帰りの会 14:00~14:15/ 6限 14:15~15:00				

*児童下校 15時25分（または15時30分）

*通学方法 路線バス徳合方面3名、百川方面9名、徒歩通学13名

糸魚川市立能生小学校



所在地 糸魚川市能生 4485 番地

校長 中澤 和仁

教頭 根津 恭子

☎ 025(566)2026

fax025(566)3159

Email noushou@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	3	9
男子	15	13	13	14	10	15	11	91
女子	10	16	12	15	11	10	5	79
計	25	29	25	29	21	25	16	170

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- M7 第5 中学区公立第 16 番能生小学校創立
- S22 能生町立能生小学校と改称
- H13 P T A と「新潟緑の百年物語」植樹実施
- H15 校舎耐震大改装を実施
- H17 市町合併 糸魚川市立能生小学校と改称
- H27・28 文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」委託研究を実施
- R 2 糸魚川市学力向上研修会 陰山メソッド全国大会を実施

(2) 教育課題

- 相手意識と社会性の育成
- 主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
- 生活習慣の改善と健やかな体づくり

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「よく学び 心豊かに たくましく」

(2) 重点目標

- 学校教育全体で取り組むキャリア教育

(3) 重点目標達成のための方策

- 能生中学校区で設定した、キャリア教育で身に付けたい 5 つの力（「人とかかわる力」「自分を見つめる力」「やりぬく力」「将来を考える力」「地域を大切にす力」）の育成に重点を置き、行事や様々な活動を計画立案する。
- 行事や活動後に、5 つの力の育成状況を振り返り、行事や活動に改善を加える。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

主体的・対話的で深い学びの実現に向け、よさを認め合い高め合う場を設定（プラスのフィードバック）し、学び続ける力を育てる。

(2) 道徳の時間

相手の立場を考えて仲良く助け合い、温かい言葉で励まし合おうとする心と、自らの判断で行動できる態度を育てる。

(3) 外国語活動

対話を重視し、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

能生の人、もの、こととかかわり合い、問題解決過程で自己の生き方を考えていく資質・能力を育てる。

(5) 特別活動

人とかかわるなかで、望ましい人間関係を築き、自己実現を図ろうとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

学校生活の中で、正しく判断し、行動するために、社会性と相手意識を育てる。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 児童の自発的かつ主体的な成長・発達の過程を支援していく働きかけを行う。
- 子ども同士が心の触れ合いを深め、共感的な人間関係を構築する集団作りを行う。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「分かる授業で居心地のよい学級づくり」

(2) 研究の内容

- ①授業改善5つのポイントの実施によるシンプルでテンポの良い授業展開
- ②意図的・効果的なプラスのフィードバック

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、地域素材や地域講師を活用し、児童がふるさとへの誇りと愛着をもつことができるようにする。

- ①3年生…白山神社、弁天岩
- ②4年生…能生川
- ③5年生…海洋高校、あぐ里能生
- ④6年生…フウセンカズラの活動

(2) キャリア教育

人とかかわり合いながら活動し、自己のよさを生かして、進んで人の役に立とうとする子どもを育てる。自分にあつためあてをやり遂げる子どもを育てる。

- ・学校教育全体での取組
- ・全校でのフウセンカズラ高齢者見守り隊でのお年寄り訪問支援活動
- ・全校で継続的にかかわり合う縦割り班活動

(3) 特別支援教育

①学校体制で取り組む特別支援教育の推進

- ・校内委員会を中心としての情報共有と、校内支援体制の工夫・改善
 - ・「交流及び共同学習」の継続的な実施
- #### ②関係機関との連携による一貫した支援
- ・SC、SSW、生活指導支援員、家庭児童相談員等と連携した支援の充実

(4) 学力向上いといがわプラン

朝活動の時間を「Nouトレタイム」とし、音読・百ます計算・漢字を実施

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 13 ○養護助教諭 1
 ○栄養教諭 1 ○主任 1 ○教育補助員 3
 ○図書館司書 1 ○管理員 1 ○ALT 1

8 学校運営協議会委員等

【委員の構成】15名

町内会連合会長、糸魚川市人権擁護委員、
 小泊地区長、能生保育園長、PTA会長ほか

【その他支援団体等】

- 地域後援会 ○民生児童委員 ○学区町内会
 ○元気印の会 ○能生地区まちづくり推進協議

□□日課表□□

令和4年度校時表(案)						
トはチャイム		糸魚川市立能生小学校				
項目	時間帯	週 時 程				
		月	火	水	木	金
職員出勤	8:15					
児童登校	8:00~8:10	児童登校				
朝の会	8:15~8:25	学級朝会・健康観察				
朝活動	8:25~8:35(10分)	<NOUトレタイム> ～音読・百ます計算・全学年漢字～				
1限	8:35~9:20	1	6	12	18	24
2限	9:25~10:10	2	7	13	19	25
休憩	10:10~10:30					
3限	10:30~11:15	3	8	14	20	26
4限	11:20~12:05	4	9	15	21	27
給食	12:05~12:45					
休憩	12:45~13:30					
清掃	13:30~13:45	清掃	ロビーの掃除	清掃	集会(全校・児童) ない・特別シブの昼休み	清掃
5限	13:50~14:35	5	10	16	22	28
終会・休憩	14:35~14:45	学級終会・休憩			クラブ 14:00-15:30 16-17	学級終会・休憩
6限	14:45~15:30	会議・研修	11	17	23	29
児童下校	5限下校日:14:50 6限下校日:15:40					
課外		会議・研修	学級事務 教材研究	終会 子ども語る会 16:15~16:45	学級事務 教材研究	学級事務 教材研究
職員退勤	16:45					

*児童下校 14:50、15:40 *通学方法徒歩 170名

糸魚川市立南能生小学校



所在地 糸魚川市溝尾 2991-4

校長 富永 範子

教頭 大坪 豊

☎ 025(568)2011

fax025(561)5015

Email minaminou@itoigawa.ed.jp

2022年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	0	3
男子	1	1	1	1	1	1	0	6
女子	2	1	2	2	2	2	0	11
計	3	2	3	3	3	3	0	17

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S37 川内小学校統合

S59 現校舎完成

S63 上能生小学校・高倉小学校統合

H17 糸魚川市立南能生小学校(改称)

H23 新潟県小学校教育研究会学習指導改善調査研究事業公開校実践事例報告会開催

R元 新潟県へき地複式教育研究会主催授業研究会開催

(2) 教育課題

□基礎的・基本的内容の習得と活用 [まなび]

□認め合い・励まし合い自己有用感に満ちた仲間づくり [こころ]

□みんなで高め合う体力・健康づくり [からだ]

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

学び きたえ 励まし合う子

(2) 重点目標

主体的に考え、学び続ける子

(3) 重点目標達成のための方策

- 週4回の学力向上いといがわプランの実施
- 多様な考えや良い文章に触れる機会の推進
- 聞いて考える場の工夫
- 学んだことを伝えたり、話したりする機会の工夫
- 地域人材を生かした体験活動の充実
- 特別活動における主体的な活動の設定
- 道徳教育、人権教育の充実
- 縦割り班で協同する活動の設定
- めあて・振り返りカードやQUアンケートを活かした学級づくり
- 多様な動きを取り入れた運動の機会の推進
- 高め合うためのかわり合いの場面の設定
- 自分の生活を振り返り、考える場面の設定
- メディアとの適切な付き合い方の啓発

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

新学習指導要領の趣旨を踏まえ、自分でじっくり考え、友達の意見や考えを聞き、自分の考えを高める授業づくりを行う。

少人数学習ならではのきめ細やかな授業による確かな学力を育成する。

(2) 道徳の時間

道徳的価値の自覚が深まるよう、「問題解決的な学習」「体験的な学習」を基にした学習過程を工夫し、豊かな心と道徳的実践力を育てる。

(3) 外国語活動

外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

進んで対象にかかわり、地域の自然や伝統、くらしや文化からよさを学び、地域を大切にしようとする態度を育てる。

(5) 特別活動

児童の発達段階や個性に応じた活動を尊重しながら社会性を育てるとともに、自主的・自発的な態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

自己有用感にあふれる集団づくりや互いに協力して集団生活を送ろうとする態度等の社会性の育成、基本的な生活習慣の定着を図る。

(2) 具体的な実践の方策

- 教育活動全般において、一人ひとりのよさや可能性を生かす支援を行うとともに、自己実現を図る指導と評価の工夫を推進する。
- 育てたい社会性の重点化を図り、家庭・地域と連携して発達段階に即した社会性の育成に努める。
- 特別活動では、互いの意見を尊重して問題を解決する意欲や態度の育成、児童が主体的に関わる行事の実現を図る。

- 道徳指導との連携を図り、体験的な活動を通して規範意識の醸成や道徳的価値の自覚を高める。
- 児童理解のための研修会や情報交換会を実施し、全職員の共通理解を深める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「問題を正確に読み解く力の育成（2年次）」

(2) 研究の内容

「資料を正確に読み解く力」の育成を目指して、下記の学習過程に重点をおいて実践を行い、成果をまとめる。

- ① 資料から読み取った事を記述する。
- ② 気付きを発表する。
- ③ 読み取りポイントの共通点・相違点を見付ける。
- ④ 各資料のよさを考え、生かす。
- ⑤ まとめで資料を有効活用する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、進んで地域の「人・もの・こと」とかかわり、自然や文化、くらしや伝統などの地域のよさを学び、地域を大切にしようとする活動を推進する。

(2) キャリア教育

係活動や委員会活動などで、自主的・主体的に活動することで、成長を実感できる活動を推進する。

(3) 特別支援教育

人とのコミュニケーション能力の向上を図り、学校生活の中で適応する力を高める。

一人ひとりの可能性を伸ばし、個々のニーズに沿った個別最適な環境が整うように、関係機関等と連携し支援に努める。

(4) 学力向上といがわプラン

学力ぐんぐんタイムに「音読・百マス・漢字練習」の3取組を実施する。

※月曜日は、朝読書（読み聞かせ）を実施するため、週4日実施する。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 3 ○養護教諭 1
- 主事 1 ○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】14名

- 区長会長、学職経験者、民生委員、学校後援会長、各地区考える会代表、地域学校協働活動推進委員、実業家、PTA会長・副会長 他

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

- 地域の様々な機関や団体とのネットワーク
- 「地域に学び 地域と歩む」連携の在り方

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:00	職員出勤・児童登校(登校後)				
8:10~8:15	朝の会(月曜日はフッ化物洗口)				
8:15~8:35	朝読書	学力ぐんぐんタイム(音読・百マス・漢字練習)			
8:40~9:20	1校時				
9:25~10:05	2校時				
10:05~10:35	おおぞらタイム				
10:35~11:15	3校時				
11:20~12:00	4校時				
12:05~12:35	給食				
12:35~13:20	フレンドリータイム				
13:20~13:35	清掃			清掃	
13:40~14:20	5校時				
14:25~15:05	6校時				
15:05~15:15	下校準備				
15:15~	児童下校				

*児童生徒下校 15:15

*通学方法 スクールバス 登校 1名 下校 3名
路線バス 4名
徒歩 登校 12名 下校 10名

糸魚川市立中能生小学校



所在地 糸魚川市大字平 404

校長 若木 直弘

教頭 磯野 和美

☎ 025(566)2702

Fax 025(566)2099

E-mail nakanou@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制

学年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特 支	合 計
学級	1	1	1		1		1	5
男子	5	2	5	0	4	4	1	21
女子	3	2	6	4	2	5	2	24
計	8	4	11	4	6	9	3	45

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- S37 旧中能生小、旧西能生小、旧柱道小の3校が統合し、能生第二小学校として設立
- S38 校名改称、中能生小学校となる
- S63 新校舎竣工、記念式典挙行
- H3 統合30周年記念式典・祝賀会
- H19 体育館改築工事完了
- H29 プール内壁塗替工事完了
- R3 無線LAN整備 全児童へiPad配付

(2) 教育課題

- 学力の向上を図ること
- 相手を思いやり、自ら考えて行動する態度を育てること
- 健康や安全への意識の向上を図り、実践力を育てること

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標 学びあい 助けあい 鍛えあい

(2) 重点目標

- 進んで、分かりやすく表現する子
- 相手を思いやり、進んで考動する子
- めあてを決め、進んで健康な生活をする子

(3) 重点目標達成のための方策

- 学力の向上と問題解決能力の育成に努める。
- 望ましい人間関係づくりに努める。
- ジオパーク学習を推進する。
- 一人ひとりの職員の指導力と組織力の向上に努める。
- 保育園・中学校、家庭、地域、諸機関との連携を強化する。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

自分の考えをもち小集団による練り上げができる授業を展開し、思考力の向上を図る。

(2) 道徳の時間

ねらいとする道徳的価値を自分の課題と受け止め、よりよく生きようとする意欲を育む。

(3) 外国語活動

言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域の自然や伝統、文化などに関わりながら、探求的な学習を通して生きる力を育む。

(5) 特別活動

異学年や様々な人との交流の機会を設定し、主体的に活動していこうとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

相手の気持ちを思いやり、進んで考え行動する子どもを育てる。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 一人ひとりと関わり、安心して過ごせる学級・学校づくりをする。
- 明るい挨拶が、いつでもどこでも誰にでもできるように指導する。
- 縦割り班活動等で自主的に子どもどうしに関わる活動を充実させる。
- いじめ防止基本方針に基づき、問題行動等の未然防止と早期発見、即時対応に努める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「一人ひとりが主体的に取り組み、考えを深め合うこどもの育成」

～言語活動の充実を通して～

(2) 研究の内容

- ・集中力を高め、基礎・基本の定着を図る。
- ・考えを伝え合い、深めることができるよう ICTを活用しながら、言語活動を工夫する。
- ・課題からまとめ、振り返りまでを意識した授業を展開する。
- ・家庭学習に意欲的に取り組めるように、計画づくりと日々の見取り等を工夫する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

主に総合的な学習の時間で、地域素材や地域講師を活用し、児童が郷土への誇りと愛着をもつことができるようにする。

- ① 3・4年生…中能生地区の自然の魅力発見
- ② 5・6年生…地域の産業、キャリア教育

(2) キャリア教育

自分の意思で行動し、思考力や表現力を高め、自分の夢や希望をもつ。(キャリアパスポートの活用)

- ①低学年…自分物語、町・地域探検
- ②中学年…活動リーフレット、郷土に伝わる願い
- ③高学年…将来の自分を考え、夢を綴る

(3) 特別支援教育

生活力を身に付け、たくましく生きる子どもを育てる。

- ①支援を必要とする児童の全職員での情報共有
- ②温かい人間関係の醸成
- ③環境のユニバーサルデザイン化

(4) 学力向上といがわプランの実施の概要

(時間、内容)

- ・毎週火～金の 8:15～8:30
- 8:15～8:20 音読
- 8:20～8:25 百マス計算
- 8:25～8:30 漢字前倒し

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 5 ○養護教諭 1
- 事務主事 1 ○教育補助員 1 ○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】14名

- 地区公民館長 ○保育園長 ○PTA会長
- 区長会長 ○後援会長 ○主任児童委員
- 各地区選出の地域住民

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

- 生活科・総合的な時間の内容・講師について
- 各種行事における地域と学校の連携について

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:15～8:30	朝清掃	朝学習	朝学習	朝学習	朝学習
8:30～8:45	朝の会				
8:45～9:30	1時間目				
9:30～10:20	2時間目				
10:20～10:35	移動時間・学習準備				
10:35～11:20	3時間目				
11:25～12:10	4時間目				
12:10～12:55	給食				
12:55～13:40	昼休み				
13:40～	5時間目 13:40～	つくし	清掃	つくし	Vs 清掃
14:00～14:45	6時間目	5時間目 (クラブ 14:00～15:45)			
15:00～15:45	14:30～	6時間目	6時間目	(委員会)	6時間目
～16:45	下校	課外活動	下校	下校	課外活動

*児童生徒下校 15:00 15:50

*通学方法 徒歩 45名

糸魚川市立木浦小学校



所在地 糸魚川市大字木浦 6073
校長 中嶋 里子
教頭 北野 稔
☎ 025(566)2120
fax025(566)5650
Email konoura@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1		1		0	1	1	4
男子	1	2	1	0	0	1	0	5
女子	0	0	1	2	0	0	1	4
計	1	2	2	2	0	1	1	9

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

明治35年 村立木浦小学校として開校
昭和29年 能生町立木浦小学校と改称
52年 現校舎完成
平成7年 特別教室棟完成
17年 糸魚川市立木浦小学校と改称
24年 創立 110 周年記念事業開催

(2) 教育課題

- 重点化した教育課程の編成
- 小規模校の強みを生かし、地域と未来を担うための資質や能力の育成
- 社会性育成のための多様な交流活動

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「豊かな人間性とたくましい実践力を身に付けた子どもに育てる」

(2) 重点目標

「学び合い（知）かかわり合い（徳）きたえ合い（体）共に伸びる」

- 考えを広め深める言語活動の充実と「できた」「分かった」を実感できる授業づくり
- 道徳性の醸成とよりよい人間関係を築くための社会性の育成
- 家庭と連携した健康な体づくりと生活習慣形成

(3) 重点目標達成のための方策

- 小規模校の強みを生かし、地域や家庭、中学校区と連携を図りながら、「切磋琢磨」「多様な交流」「個に応じた指導」の視点から学力向上と社会性の育成を図る。
- 子ども一貫教育の視点からの教育活動を展開する。
- 全職員が知恵を出し合い、いいことは継承・継続し、新たに挑戦しながら学校運営の改善を推進する。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎的・基本的な力や主体的・対話的に学ぶ力を育て、確かな学力を身に付ける。

(2) 道徳の時間

思いやりと自他の生命を大切にできる心を持ち、自らの判断で行動する力を育てる。

(3) 外国語活動

外国語の言語や文化についての体験的理解をとおして、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

自ら問題を見付け、主体的に追求し表現する力を育てる。

(5) 特別活動

互いに認め合い、自主的に活動しようとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

互いの個性や能力を認め合い、よりよい人間関係を育てるとともに、目標をもって意欲的に生活しようとする態度を育てる。

(2) 具体的な実践の方策

- 職員間での児童理解を深め、家庭や地域、関係機関との連携をとおして、素早い対応に努める。
- 学習指導の中で、自己決定の場を多く設け、自主的・主体的な態度を育てる。
- いじめや差別を「しない、させない、許さない、見逃さない」人権感覚を身に付けさせ、いじめ防止基本方針に従って、報告体制を機能させ、情報共有を図る。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

学ぶ意欲をもち、自分の考えを伝え、深め合う子どもの育成

(2) 研究の内容

- ① 研究の視点に基づいた授業研究の実施
- ② 表現する機会の多い活動の設定
- ③ 個に応じた支援の充実
- ④ 学びを支える基礎学力の定着
- ⑤ 糸魚川市共通取組による改善

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

緑の少年団活動や環境教育、ESD 教育との関連を図り地域の自然や人々と関わりながらダイナミックな体験活動を効果的に組み込む。

- ① 3～6年…緑の少年団として他校との交流会を8月に実施。
- ② 全学年…教育活動全体を通してESD 教育を進める。

(2) キャリア教育

自他のよさに気付き、夢や目標のある生活を作り出そうとする意欲と態度を育てる。

低学年…人との触れ合いの楽しさを味わい、自分のできることを見付け、伸び伸びと活動する。

中学年…自分のよさを見つめながら、もち味を發揮して、役割を果たす。

高学年…立場や役割を理解して主体的に活動し、役立つ喜びを体得する。

(3) 特別支援教育

- ① 相談支援ファイルを活用し、児童一人ひとりの教育的ニーズを把握し、職員間の情報交換を密にして指導方法の工夫・改善に努める。
- ② 校内委員会を中心とする校内体制の充実及び、関係機関との連携を図る。

(4) 学力向上いといがわプラン（集中タイム）

① 実施の概要（時間、内容）

「学力向上いといがわプラン（集中タイム）」で学習の土台となる基礎学食と集中力を育成する。音読、百ます計算、漢字学習は、1時間目の始めに実施し、全校集中タイムも週1時間実施する。計算は2分以内でできることを目標に取り組みさせる。個人のめあてを立て、各自の記録を蓄積していく。漢字の前倒し学習は、毎日4つずつ学習し、当該学年の漢字を習得する。2～3学期は、熟語を覚える。

(5) 能生小学校との交流

令和5年度の統合に向けて、計画的に能生小学校との交流を進め、スムーズな移行を図る。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 4 ○講師 1
○養護教諭 1 ○主任 1 ○管理員 1

8 学校運営協議会について

【委員の構成】11名

- 木浦地区連絡協議会長、鬼舞区長、地域学校協働活動推進員、木浦公民館長、木浦保育園長、元教員、保護司、支援ボランティア、民生・児童委員、保護者

【学校運営協議会での課題（熟議の課題と取組）】

- 地域学習の更なる充実に向けての情報交換
○学習成果の地域への還元
○地域を元気にする挨拶運動の展開
○災害時における避難場所の確認や避難訓練
○地域と家庭と学校が、互いに利益のある良好な関係性を築き、維持するため、それぞれの役割分担についての検討や確認

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:15～ 8:30	学級	朝会	朝読書	学級	集中
8:30～ 8:40	朝の会				
8:40～ 9:25	1時間目（集中タイムを含む）				
9:30～ 10:15	2時間目				
10:15～ 10:35	20分休み				
10:35～ 11:20	3時間目				
11:25～ 12:10	4時間目				
12:10～ 12:45	給食				
12:50～ 13:35	昼休み				
13:35～ 13:50			清掃		清掃
13:35～ 14:20	5時間目	5時間目		5時間目	
13:55～ 14:40			5時間目		5時間目
14:30～ 15:15	6時間目	6時間目		6時間目	
14:50～ 15:35			6時間目		6時間目

*児童生徒下校 月・火・木 15:30
水・金 15:50

*通学方法 徒歩9名



糸魚川市立下早川小学校

所在地 糸魚川市日光寺 322 番地

校長 小川 豊雄

教頭 八木 千佳誉

☎ 025(555)2107

fax025(555)4516

Email tukimizu@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	2	8
男子	1	8	5	6	4	2	3	29
女子	3	6	6	4	7	7	5	38
計	4	14	11	10	11	9	8	67

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

明治 7 年 第六大区第五中学区七区日光寺校として創立 (11 月)

大正 14 年 校歌制定 (中山晋平作曲 相馬御風作詞)、学校林開始

昭和 29 年 糸魚川市立下早川小学校と改称

昭和 39 年 県愛鳥モデル校指定

昭和 54 年 つつじが丘緑の少年団結成

平成 17 年 中早川小学校と統合

平成 28 年 上早川小学校と統合

(2) 教育課題

豊かな自然環境と温かい地域の支援に支えられ、小規模校ならではのきめ細かな教育を行っている。

互いに認め合いながら自他を尊重し、高め合う関係を構築する児童の育成に取り組んでいる。

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標 「一歩前へ」

(2) 重点目標

知：進んで学び 高め合う子

徳：自分を見つめ よりよく友達とかかわろうとする子

体：体力づくりに 進んで挑戦する子

(3) 重点目標達成のための方策

知：進んで学び 高め合う子

□「伝える力」・「読み取る力」の育成

○自分の考えをしっかりと伝える授業の展開

○読書活動を重視し、「読み取る力」を育成

○課題提示と、まとめ・振り返りを重視した授業の工夫

○ICTを効果的に活用した授業づくり

□基礎・基本の定着

○学力向上糸魚川プランによる集中力と基礎学力の定着

○ワークテストによる学力の定着確認と補充学習

□早川に愛着と誇りをもつ子の育成

○地域の特色と人材を生かした学習

○自然に対する感性や言語感覚を磨く俳句学習

徳：自分を見つめ よりよく友達とかかわろうとする子

□自分も友達も大切にし、思いやりのある言動ができる豊かな心の育成

○思いやりの心を育成するための重点指導

○全校教育活動を通して育む、自己有用感

○居心地の良い学級作り

○自己を見つめ、生き方についての考えを深める
道徳の授業展開

□学校・地域・家庭で、相手に聞こえる声で進んであいさつをする態度と気持ちの育成

○児童の発達段階に合わせて、あいさつについての指導を行う。

体：体力づくりに 進んで挑戦する子

□めあてをしっかりとち、体づくりに励む態度の育成

○体を動かすことが好きになる体育授業や遊びの工夫

□早寝・早起き等の望ましい生活習慣の育成

○年3回の強調週間の実施による健康への関心・意欲の高揚

○座姿勢を意識させることでの健康意識の高揚

□自然災害の特徴を知り、自分の身を守るための知識と行動力の育成

○年間指導計画に基づいた各自然災害の学習を
発達段階に応じて確実にを行い、訓練等で実践力を高める。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎的な知識・技能及び各教科の基本的な知識・技能を習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成する。

(2) 道徳の時間

友達を尊重し、共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

(3) 外国語活動

外国語による言語活動を通して、主体的にコミュニケーションを取ろうとする意欲と態度を育てる。また、ねらいを明確にして授業を構築し、評価することで、指導と評価の一体化を図る。

(4) 総合的な学習の時間

地域の人・もの・こととのかかわりを通して課題を見つけ、仲間と協力しながら主体的・創造的に課題を解決しようとする態度を育てる。

(5) 特別活動

自主的、実践的な集団活動を通して人間関係をよりよく形成し、自己実現をはかろうとする子の育成。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

自分も友だちも大切に、思いやりのある言動ができる豊かな心の育成。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- アンケートや相談員との連携などにより、児童理解や問題行動の未然防止に努める。
- 「よい子のやくそく」等を繰り返し指導し、保護者や地域と連携してきまりの徹底を図る。
- 進んで相手に伝わるあいさつができることを目標に「オアシス運動」を推進する。
- SST などの実施により、受容的・肯定的な人間関係を育て、自己肯定感を高める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「対話を通して、考えを深める児童の育成」
～伝え合う力を育む授業の工夫～

(2) 研究の内容

対話場面において児童が考えを表出する力は向上したが、自分と友達の考えを比較し、自分の中で考えを再考し、深めようとする対話までつながらなかった。そこで、対話を通して考えを深めるような授業の工夫を行い、伝え合う力の育成を目指す。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

地域素材や講師を活用した学習をし、児童が早川地域への誇りと愛着をもてるようにする。

(2) キャリア教育

ものづくりや施設訪問などの体験活動を通して、望ましい職業観を育てるとともに、多様で幅広い他

者との人間関係の構築を図る。

(3) 特別支援教育

全職員での情報共有を行うとともに、カウンセラーや関係機関との連携を密にする。また、UD化の視点での指導方法の工夫・改善を行う。

(4) 学力向上といがわプラン

○実施の概要（時間、内容）

音読・100 ます計算・漢字：朝学習の時間

漢字前倒し学習：1 学期…学年の全漢字の読み・書き

2、3 学期…学年の全漢字の習熟

(5) その他

①俳句学習

全校で俳句学習に取り組み、豊かな感性を養うとともに、言語感覚を磨く。

②緑の少年団

緑化活動やオアシス運動などを通して、豊かな心と体を養う。

③クロスカントリースキー

強い精神力と体力の向上を図るとともに、雪に親しむことを通して、ふるさとへの愛着をもたせる。

7 教職員の構成

○校長1 ○教頭1 ○教諭9 ○養護教諭1 ○養護助教諭1
○事務主事1 ○教育補助員4 ○管理員1 ○調理員2

8 学校運営協議会

【委員の構成】12 名

○PTA、学校後援会、公民館、自治振興会、民生委員、学区保育園、スキークラブ関係者

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

○地域を元気にするあいさつ運動の展開

○学校の教育活動への地域人材の活用

□□ 日課表 □□

		令和4年度 校時表				
時刻		月	火	水	木	金
8:05	前会					
8:15	朝学習	読書		学級朝会(10分間)		音読・マス計算・漢字 (倉:フタヒ物置口)
8:30	1限	<1>	<6>	<11>	<16>	<21>
9:15				5分休み・移動		
9:20	2限	<2>	<7>	<12>	<17>	<22>
10:05				20分休み・移動		
10:25	3限	<3>	<8>	<13>	<18>	<23>
11:10				5分休み・移動		
11:15	4限	<4>	<9>	<14>	<19>	<24>
12:00	給食			給食(12:35ごろまで、その後3分間自由席)		
12:40	昼休み			昼休み(休憩時間12:40~13:25)		
13:25	清掃	<5>		清掃/各種集会	<20>	清掃
13:40		13:28~14:10		移動 5分	13:28~14:10	移動5分
14:10	5限	学級集会(10分間)	<10>	<15>	学級集会(10分間)	<25>
14:20		5分休み・移動	13:45~14:30		5分休み・移動	
14:30	6限	<26>		学級集会(10分間)	<28>	学級集会
14:40		(2/3時間) 35分間		5分休み 児童下校14:45 日16:12 上18:20	(2/3時間) 35分間	
14:55	6限	14:20~15:00	<30>	<27>	14:20~15:00	<29>
		3-6年 児童下校15:10 日18:12 上18:20	3-6年 児童下校15:10 日18:12 上18:20	3-6年 児童下校15:10 日18:12 上18:20	2-6年 児童下校15:10 日18:12 上18:20	4-6年
15:30			職員会議	児童下校 15:45 日18:08 上18:15		
15:45			職員研修			
16:20	放課後			(課外活動)	終会16:00	(課外活動)

*通学方法 路線バス 20 名 徒歩 47 名



糸魚川市立大和川小学校

所在地 糸魚川市田伏 87

校長 田原 早苗

教頭 竹内 淳

☎ 025(552)3115

fax025(552)5509

Email nadesiko@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制 (特支人数は再掲)

学年	1	2	3	4	5	6	特	合計
学級	1	1	1	1	1	1	3	9
男子	15	19	13	18	15	19	16	99
女子	11	13	12	12	19	11	4	78
合計	26	32	25	30	34	30	20	177

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

M7 大和川小学校開校

S61 校舎完工式, 記念祝賀会

H26 創立 140 周年

(2) 教育課題

□主体性を育み, 集団で向上する児童の育成

□思いやりのある言動ができる児童の育成

□健康習慣の育成

□互いのよさを認め合う気持ちの醸成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「よく学び 心やさしく 元気な子」

(2) 重点目標

学校教育全体で取り組むキャリア教育

(3) 重点目標達成のための具体的方策

① 授業で学級づくり

- 一人ひとりの子どものよさを引き出し, 相互に認め合える人間関係, 支え合う関係を育む授業づくり

② 地域に学ぶ・地域とともに歩む活動

- ふるさと糸魚川のよさを知り, 発展を願う子どもを育成するための, 「地域に学び, 地域に働きかける活動」の実践
- 地域, 保護者との確かな連携

③ 基礎学力と集中力の向上

- 「学力向上いといがわプラン」の着実な実践
- 集中する力を育て, 子どもたちのもっている力を最大限伸ばす教育を目指す。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基本的な学習規律・習慣を身に付け, 思考力・判断力を高める。

(2) 道徳の時間

相手のことを思いやり, 進んで親切にする心情を育む。

(3) 外国語活動

自国や他国の文化のよさが分かり, 進んでコミュニケーションをとろうとする児童を育成する。

(4) 総合的な学習の時間

教科で培った力を進んで活用し, ふるさとに誇りと愛着をもつ児童を育成する。

(5) 特別活動

よりよい集団に向けて, 自ら進んでものごとに取り組む児童を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点 (抜粋)

- ①時や場を考えた行動の意味を学び, 善悪を判断して行動できるようにする。
- ②教師と子ども, 子ども同士の信頼関係づくりを行う中で, いじめや不登校, 問題行動の予防に努める。

(2) 具体的な実践の方策

- 生活目標の取組により生活習慣の定着を図る。
- 相手の気持ちを考えて行動する態度を育てる。
- 家庭や地域と連携し, 挨拶運動を推進する。
- 問題行動の早期発見・早期解決を図る。
- 異学年交流を推進し自己有用感の向上を図る。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

主体的に学び、考えを深める子ども(2年次)
～基礎学力の定着、授業改善、家庭学習習慣
の育成を通して～

(2) 研究の内容

- ①基礎学力と集中力の向上を目指した集中タイム(学力向上いといがわプラン3取組)
- ②「授業改善5つのポイント」を意識し、子どもの「分かる」を目指した授業改善
- ③自分の学びを自分でつくる家庭学習習慣の育成

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習(ふるさと学習)

地域に根ざして学び、ジオパーク学習(ふるさと学習)で地域の事象や人と繰り返し関わる体験をとおしてまろやかな心を耕し、ふるさとへの愛着を高める。

(2) キャリア教育

様々な人との関わりや体験活動を通して、自分のあり方や生き方を見つめ、共によりよく生きていこうと努力する子どもを育てる。

- ①低学年…生活科での野菜づくりや飼育活動等をとおして、自分の役割が分かり、実践しようとする態度を養う。
- ②中学年…社会科での町探検や総合的な学習の時間での地域の人々との関わりをとおして、働くことの楽しさがわかり、自分の仕事を主体的に行う態度を養う。
- ③高学年…地域の働く大人や専門家から学ぶ機会を設定し、働くことの大切さや意義について深く考える。また、将来の夢や希望をもち、実現を目指して努力しようとする態度を養う。

(3) 特別支援教育

- ①誰でも居心地のよい学級となるようにする。
- ②どの子にも分かる授業を実践する。
- ③自分を知って自分を好きになるようにする。

④教育相談の充実を図る。

(4) 学力向上いといがわプラン

①3取組

時間：朝の学習タイム

内容：音読、まず計算、漢字学習

②授業改善

「ふりかえり」から「課題」の流れを意識した授業構成

7 教職員の構成

- 校長1 ○教頭1 ○教諭11 ○講師1
○養護教諭1 ○主任1
○教育補助員5 ○管理員1 ○調理員5

8 学校運営協議会

【委員の構成】15名

- 町内会長、教職経験者、PTA、おやじ倶楽部等
【CSとしての課題(熟議の課題と取組)】
○CS人づくり目標に基づく協働した連携活動
○登下校を中心とした「見守り隊」の拡大
○コロナ禍における連携の在り方の検討

日課表

	月	火	水	木	金	短縮校時
8:15	職員勤務開始					
～8:15	児童登校					
月 8:15～8:25	朝の会					朝の会(10分) 8:15～8:25
月 8:25～8:45	集中タイム	集中タイム	フッ化物洗口 学級タイム	集中タイム	集中タイム	朝清掃(10分) 8:30～8:40
8:45～9:30	1限	1限	1限	1限	1限	
9:35～10:20	2限	2限	2限	2限	2限	集中T(20分) 8:45～9:05
10:20～10:40	業間					
月 10:40～11:25	3限	3限	3限	3限	3限	1限(25分) 9:05～9:30
11:30～12:15	4限	4限	4限	4限	4限	
12:15～13:00	給食					2限(40分) 9:35～10:15
13:00～13:45	昼休み					
13:45～13:55	清掃	清掃	ロング(9分)	清掃	清掃	15分休み 10:15～10:30
月 14:00～14:45	5限	5限	5限	5限	5限	
14:45～14:55	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	3限(40分) 10:30～11:10
下校バス① 15:00	1～6年生	1・2年生	職員研修(15:00～15:45) 委員会の日(1～4年) クラブの日(1～3年)	1年生	1～3年生	4限(40分) 11:15～11:55
14:50～15:35		6限	委員会(15:00～15:45) クラブ(15:00～16:00)	6限	6限	
15:35～15:45		帰りの会 3～6年生	帰りの会 2～6年生	帰りの会 4～6年生		5限(45分) 12:00～12:45
下校バス② 15:55	職員会議	3～6年生	職員研修(15:00～15:45) 委員会の日(5,6年)	2～6年生	4～6年生	昼休み(5分) 12:45～13:30
下校バス③ 16:10	職員研修		クラブの日(4～6年)			
15:50～16:30	研究推進 (15:20～16:40)	課外活動		課外活動		5限(40分) 13:30～14:10
下校バス④ 16:40		5・6年生	職員終礼 (16:20～16:40)	5・6年生	学年部会 研究推進	6限(40分) 14:10～14:20
						下校バス⑤

*児童下校 月：15:00 火～金：15:55

*通学方法 スクールバス13名 徒歩164名



糸魚川市立西海小学校

所在地 糸魚川市大字羽生 1937

校長 水澤 哲

教頭 齋藤 雅彦

☎ 025 (552) 3811

fax025 (552) 0763

Email umikawa@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制 (特支人数は再掲)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	3	9
男子	4	6	2	6	5	8	3	31
女子	4	9	4	4	6	10	5	37
計	8	15	6	10	11	18	8	68

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

H17 西海小学校発足 (北西海小学校
と南西海小学校が統合)

H26 創立 10 周年記念式典挙行

H27 交通安全ヘリコプター訪問
(泉田裕彦県知事訪問)

R 1 創立 15 周年記念行事実施
(航空写真撮影・鑑賞教室)

(2) 教育課題

□豊かな心の育成

- ・西海小いじめ防止基本方針を基にした児童の心の育成
- ・良好な人間関係づくり・人権感覚の育成

□確かな学力の育成

- ・主体的・対話的で深い学びの育成
- ・家庭学習習慣の確立

□健やかな体の育成

□PTA、後援会、公民館、青少協等と連携した教育活動や生活指導の充実

□保育園から中学校への接続を意識した子ども一貫教育の推進

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「うるわしき心 よく学び 元気な体 清き夢」

(2) 重点目標

「西海大好き」と言える子

(3) 重点目標達成のための方策

- こども会議・クラス会議の実践
- 特別支援教育の充実
- 学力向上糸魚川プランを推進し、集中力を高め基礎学力の定着を図るための取組の実施
- 西海の教育資源の活用
- 家庭と地域の連携
- 保幼・小・中の連携

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎基本の確実な定着と、それらを活用し課題解決する力の育成を進め、学習意欲の向上を図る。

(2) 特別の教科 道徳

主体的な判断に基づいて道徳的実践を行い、自立した人間として他者と共によりよく生きる児童を育てる。

(3) 外国語・外国語活動

外国語学習を通じて、言語やその背景にある文化の多様性を尊重し、コミュニケーションを図るための素地を身に付けた児童を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域から学習課題を見付け、解決に向けた探求的な活動を通して、地域や人に関心する児童を育てる。

(5) 特別活動

互いに助け合い、認め合う人間関係を築き、よりよい学校生活を築こうとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

コミュニケーション能力と規範意識の向上により社会性を育成し、互いの良さを認め合い、いじめを許さない態度を育てる。

(2) 具体的な実践の方策

- 市共通項目アンケートを実施し、PDCAで「魅力ある学校づくり」を推進する。
- いじめ防止基本方針に基づく、より良い人間関係構築に向けた教育活動の設定と実施
- 授業では、対話に重点を置き、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 各学級でスローガンを作成し、「いじめ見逃しゼロ強調月間」の取組を充実させる。

- 学校生活アンケートやQ-U検査、「子どもを語る会」を通じて児童理解を深め、幼・保、中学校との連携を図り、小1プロブレムや中1ギャップの解消を図る。
- 「いじめ防止学習プログラム」を基に、児童に自己有用感や規範意識を育み、粘り強く取り組む態度を育てる指導を工夫する。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的・対話的に学び深め合う授業づくり」
(2年次)

～こども会議・クラス会議を用いたコミュニケーション能力の育成～

(2) 研究の内容

- ①クラス会議・こども会議の実践
 - ・各学級や児童会において、話し合い活動の土台づくりやよりよい人間関係づくりを継続する。
- ②各学年における授業の実践
 - ・考えの根拠や理由を話したり、相手に説明したり、相手の考えを聞いてさらに自分の考えを深めたりするための支援の在り方を研究する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

総合的な学習の時間や各教科で、地域素材や地域の講師との関わりを通して、児童にふるさとのおよさや特性を感じとらせ、課題解決能力の育成を図る。

- ①3年生・・・西海の名勝の調査、紹介
- ②4年生・・・海川の調査、環境を守る活動
- ③5年生・・・米作り、米を生かした活動
- ④6年生・・・職場見学(体験)、修学旅行(西海・糸魚川と他地域との比較等)

(2) キャリア教育

各教科の学習や行事、当番活動、係活動、VS活動、委員会活動等の教育活動全体を通じて、郷土愛と基礎的・汎用的能力の育成を図る。

*全学年で「夢ナビカルテ」を活用する。

(3) 特別支援教育

- ①特別な支援を要する児童の情報共有を全職員で定期的に行い、特別支援教育コーディネーターを中心に、全校体制で支援する。
- ②教育支援委員会と連携し、実態把握と効果的な支援を工夫し、家庭と連携して実施する。

(4) 学力向上といがわプランの実施

①実施の概要(時間、内容)

週4日(火、水、木、金)の朝学習・・・音読、百ます計算、漢字

7 教職員の構成

- 校長 1
- 教頭 1
- 教諭 10(含 外国語専科 1)
- 養護教諭 1
- 事務主事 1
- 教育補助員 2
- 管理員 1
- 調理員 3

8 学校運営協議会

【委員の構成】15名

- 自治振興協議会長、後援会長、公民館長、保育園長、社会福祉協議会西海支部長、青少年健全育成協議会会長、主任児童委員、民生委員・児童委員、人権擁護委員、地域学校協働活動推進員、集落支援員、PTA会長、PTA副会長、校長、教頭

【CSとしての課題】

- 地域を明るくし、活性化を図る挨拶運動の実施
- メディア教育に関わる啓発活動の実施
- 災害時における学校と地域の連携と役割分担

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:15~8:25	朝の会				
8:25~8:40	朝読書	朝学習	朝学習読み聞かせ	朝学習	朝学習
8:40~9:25	1限				
9:30~10:15	2限				
10:15~10:35	20分休み				
10:35~11:20	3限				
11:25~12:10	4限				
12:10~12:50	給食				
12:50~13:35	昼休み				
13:35~13:50	13:35 5限	清掃 13:55 5限	13:35 5限	集会、児童会等 13:55 5限	清掃 13:55 5限
14:20~14:30	14:20 帰りの会	14:40 帰りの会	14:20 帰りの会	14:40 帰りの会	14:40 帰りの会
14:40~14:50	14:30	14:40 帰りの会	14:30 6限	14:40 帰りの会	14:40 帰りの会
14:50~15:35		6限	15:15 6限	6限	6限

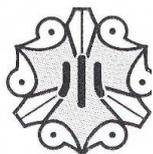
*児童下校 月・・・14:40(路線バス 15:50)

水・・・14:40, 15:25(路線バス 15:50)

火木金・・・15:00, 15:45(路線バス 15:50)

*通学方法 路線バス 2名 徒歩 66名

糸魚川市立糸魚川東小学校



所在地 糸魚川市東寺町 2-4-1

校長 岩月 高峰

教頭 相馬 修

☎ 025(552)2700

fax025(552)5256

Email magatama@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	2	2	2	1	1	2	2	12
男子	24	24	26	19	15	25	7	133
女子	23	24	21	16	20	35	3	139
計	47	48	47	35	35	60	10	272

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S55年 糸魚川東小学校開校

H19 国立教育政策研究所指定「我が国の伝統文化を尊重する教育」研究発表会

H22 校舎耐震改修工事完了

R1 創立40周年事業実施

(2) 教育課題

- 人間関係づくりの能力の育成
- 基礎学力の定着と家庭学習の習慣化
- 健康習慣の育成
- 個に応じた指導の充実

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「やさしく かしこく たくましく」

(2) 重点目標

- 望ましい人間関係を築く子
- 意欲をもって学習に取り組む子
- 活力ある毎を送れる子

(3) 重点目標達成のための方策

- 明るいあいさつと正しい言葉遣いの習慣化
- 相談し合い助け合う集団づくり
- 互いにきまりを守り、居心地のよい日常の実現
- 学びを深める言語活動と授業展開の工夫
- 基礎基本の定着や集中力の育成
(ステップアップタイムの取組)
- 自分を高める家庭学習の推進
- 生活リズムと食に関する指導の推進
- 電子メディアとの上手な付き合い方の指導
- 個々の体力が高まる体育指導の工夫

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

授業改善を通じて、主体的な学習態度を養い、基礎的な知識・技能の習得や思考力、判断力、表現力

等を育てる。

(2) 道徳の時間

友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、人間関係を築こうとする態度や、善悪の判断をし、責任のある行動をしようとする態度を育てる。

(3) 外国語科・外国語活動

外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、表現に親しみながら、進んでコミュニケーションする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

豊かな学びと豊かな心を育成する。

豊かな学びとは、①果敢にチャレンジし、自ら課題を見付け、考え、問題を解決する力、②各教科での学習を生かしたバランスの取れた判断力、総合的な見方・考え方を働かせる力、③豊かで個性的な表現力やコミュニケーション能力

豊かな心とは、①自立心や強調心、思いやりの心を身に付け、他と積極的に関わろうとする気持ち、②自分の良さに気づき、自分に自信をもち、自己の生き方について考えようとする気持ち

(5) 特別活動

友達と合意形成を図り、支え合い協力しながら活動したり最後まで自分の役割をやり通したりする態度を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

温かい人間関係が築かれた集団の中で、のびのびと活動する中にもけじめのある学校生活を送ることができるようにする。

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- 核となる行事や活動を中心にして、共感的な人間関係づくりを行う。
- 望ましい生活習慣を身に付け、いじめ防止を図る。
- プラスのフィードバックに努める。
- 児童の実態に即した生活目標の取組とSSTの実施

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

確かな読みの力を育て、論理的思考を養う国語科授業の研究 ～物語文の学習を通して～

(2) 研究の内容

物語文における「確かな読みの力」を育成する指導方法について研究する。

- ① 授業研究を行い、研究主題について明らかにしていく。「言語活動」「言葉による見方・考え方」に焦点を当てて授業を構想して実践する。また、公開授業後に協議会を行い、効果的な手法や発問について明らかにしていく。
- ② 授業を評価し、授業改善に生かす。教師は授業について授業改善チェックリストを基に評価する。毎学期評価する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

地域の人々やジオサイトなどの歴史・文化・自然から学び、地域に対する誇りと親しみや愛着を育てる教育活動を行うようにする。

- ① 3年生…地域探検 めざせ！糸魚川博士！
- ② 4年生…ふるさと糸魚川環境プロジェクト
- ③ 5年生…食や祭りを通じた糸魚川PR大作戦

(2) キャリア教育

学校生活の中で自分の役割や適正を見つけ、周囲と協力して責任を果たすようにする。

- ① 低学年…学級での係や当番活動の実施や地域の方とのふれあい活動
- ② 中学年…社会科の町探検や見学での職業理解
- ③ 高学年…糸魚川PR活動と職業調べの実施

(3) 特別支援教育

- ① 一人ひとりの個性・特性、教育的ニーズに応じた指導
 - ・分かりやすい個別の指導計画の改善と実践
- ② 校内委員会を中心とした全教職員の共通理解に基づく取組
 - ・個別の指導計画の共有と全校体制の取組
- ③ 家庭、関係機関と連携したとぎれない支援
 - ・家庭との綿密な連携及び通級指導教室担当者を中心とした連携

(4) 学力向上といがわプラン

月、火、木、金の朝8時25分～8時40分をステップアップタイムと位置付け、全校一斉に音読→百ます計算→漢字学習を行う。

- ① 音読
全校で共通の音読教材を音読する。
- ② 百ます計算
2～3週間で問題を変えて取り組む。
- ③ 漢字
全学年（1年を除く）1学期中に当該学年の漢字を習得する。ユニットテストや60ます漢字テスト等を活用し、確実な定着を図る。

7 教職員の構成

- 校長1 ○教頭1 ○教諭16 ○養護教諭1
- 事務主事1 ○教育補助員4 ○管理員1
- 調理員6 ○学校事務補助員1

8 学校運営協議会

【委員の構成】14名

- 学区協議会長、民生児童委員、交通指導員
- 公民館支館長、PTA代表

【CSとしての課題（熟議の課題）】

- 育てたい子ども像の実現に向けた組織的な取組
- 登下校時における児童の安全確保について
- 生活科や総合の教育活動への助言や参画

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:15～8:25	朝の会				
8:25～8:40	ステップアップタイム	ステップアップタイム	フナ物産品・産物	ステップアップタイム	ステップアップタイム
8:40～9:25	1限				
9:30～10:15	2限				
10:15～10:35	20分休み				
10:35～11:20	3限				
11:25～12:10	4限				
12:10～12:55	給食				
12:55～13:40	昼休み				
13:40～13:55	清掃	集会・昼休み	清掃	[特別校時] 5限 6限 委員会 または 5限 クラブ 終礼	清掃
14:00～14:45	5限				
14:50～15:35	会議 研修 終礼	6限			6限
～16:45		課外			課外

*児童下校 15:50（課外 16:45）

*通学方法 徒歩272名

糸魚川市立糸魚川小学校



所在地 糸魚川市中央 1-2-1

校長 富永 浩文

教頭 平野 浩一

☎ 025(552)0042

fax025(552)1304

Email itosyo@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制（特支人数は再掲）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	2	2	2	2	2	3	5	18
男子	33	32	34	38	29	49	24	215
女子	15	18	29	37	35	27	9	161
計	48	50	63	75	64	76	33	376

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

M5 柏崎県学糸魚川分校として開校

T12 現在の校歌（第2校歌）制定

S55 糸魚川東小学校と分離

H13 新講堂竣工

H17 高田養護学校ひすいの里分校併設

H26 新校舎完成竣工式

R3 創立 150 周年

(2) 教育課題

知識・技能の習得と判断力・思考力・表現力等の育成

違いを認め、他者と関わる力の育成

健康的な生活に向けた実践力の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「やさしく ゆたかに たくましく」

(2) 重点目標

●ともに学びを深める子

(3) 重点目標達成のための方策

●安心して自分をより伸ばそうとする力を育てる。

●諸問題を解決するための基礎を習得する力を育てる。

●知識や経験をつないで、そうぞう(想像・創造)する力を育てる。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

安心できる環境のもとで、多様に考えを出し合い、自分の見方や考えを広げる子を育成する。

(2) 道徳の時間

人や自然とのかかわりを大切にし、思いやりの心をもつ子を育成する。

(3) 外国語活動

自分の考えや思いについて間違いを恐れずに伝えようとする児童を育成する。

(4) 総合的な学習の時間

豊かな感性と互いに生き生きと学び合える人間関係を育成する。

(5) 特別活動

自主的、実践的な集団活動を通して、心身の調和がとれた発達と個性の伸長を図り、互いのよさや自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

違いを認め、他者を受け入れながら一緒に活動しようとする子どもの育成

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

●互いのよさを認め合い、児童一人ひとりが自己存在感もてる学級経営を行う。

●命の大切さを指導し、生命尊重の心を育てる。

●児童理解研修等で情報交換をし、全職員の共通理解のもと、問題行動の早期発見、早期解決にあたる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「学級経営を基盤とし、自己の能力を発揮する
子どもの育成」

(2) 研究の内容

①学級経営の充実

クラス会議を導入し、生活集団として、児童一人ひとりのよいところを伸ばし、存在感を実感できる学級経営を充実させる。

②自分で考え、学びを深める授業づくり

「課題提示の工夫」「関わり合いのある学習活動の工夫」「振り返り活動の工夫」を重視する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

身近なジオパークを教材にした生活科・総合的な学習の時間での体験や活動を通して、ふるさと糸魚川への愛着や誇りを形成する。

3年生：地域の商店街を探検し、糸魚川とそこで暮らす人に関心をもち、地域のよさを発見しようとする子を育てる。

(2) キャリア教育

他者とのかかわりを通して、自分らしさに気付き、夢や目標に向かって自ら努力できる子どもを育てる。

- ①低学年…係活動や当番活動、家でのお手伝い
- ②中学年…社会科での町探検、施設見学等
- ③高学年…様々な人との関わりや職場体験活動

(3) 特別支援教育

- ①コーディネーターを中心に校内支援委員会を開き、実態把握をし、支援方法を決定する。
- ②スムーズに途切れない支援ができるように指導計画・支援計画を修正・活用する。

(4) 学力向上いといがわプラン

- ①実施の概要…名称：パワーアップタイム
 - ・朝活動 15分間で実施 週4回月～木
 - ・音読⇒まず計算⇒漢字練習をセットに順番どおりに行う。
- 音読 (2分)

・全校で共通の名文を音読する。

○まず計算 (5分)

- ・最低1週間は同じ問題を行う。
- ・個人ファイルに、結果カードや終わった百ますのプリントを綴る。

○漢字学習 (8分)

- ・1学期中に1年分の漢字を学習し、2・3学期に熟語テストやまとめテスト等で習熟を図る。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 22 ○講師 3
- 養護教諭 1 ○栄養教諭 1 ○事務主幹 1
- 言語 (幼) 2 ○教育補助員 7 ○司書 1
- 管理員 2 ○調理員 8 ○事務補助員 1

8 学校運営協議会 (該当校)

【委員の構成】15名

- 後援会長、地区代表、民生児童委員、PTA等

【CSとしての課題 (熟議の課題と取組)】

- 教育課題解決に向けた協働的な取組
- 児童の安全・安心を守る協働的な取組

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
	登 校				
8:15	朝 の 会				朝の会 ※各種朝会の時あり
8:25	パワーアップタイム (モジュール)	パワーアップタイム (モジュール)	パワーアップタイム (モジュール)	パワーアップタイム (モジュール)	朝活動 ※朝活動の日は、登校後朝の会
8:40	1限	1限	1限	1限	1限
9:25	学 習 準 備				
9:30	2限	2限	2限	2限	2限
10:15	20 分 休 み				
10:35	3限	3限	3限	3限	3限
11:20	学 習 準 備				
11:25	4限	4限	4限	4限	4限
12:10	給 食				
12:55	登 校 休 み				
13:40					生活チェック フック物洗口
13:55	清 掃				
14:00	学 習 準 備				
14:00	5限	5限	5限	5限	5限
14:45	学 習 準 備		朝の会 ~14:55	学 習 準 備	
14:50	6限 (1・2年なし)	6限 (1・2年なし)	15:05~ 委員会活動	6限 (1・2・3年なし)	朝の会 ~14:55
15:35	朝の会 ~15:45	朝の会 ~15:45	クラブ活動	朝の会 ~15:45	
16:05	終礼	課外活動16:45 下校		課外活動16:45 下校	
16:45					

*児童下校時刻 5限時 15:00 6限時 15:50

*通学方法 路線バス 6名 徒歩 370名



糸魚川市立大野小学校

所在地 糸魚川市大野 2044-1

校長 小山 雅広

教頭 竹田 道則

☎ 025(552)0095

Fax 025(552)0172

Email i-oono-s@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1		1		1	1	2	6
男子	3	3	4	3	3	7	4	27
女子	1	4	1	3	6	5	3	23
計	4	7	5	6	9	12	7	50

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- 明治 6年 宇西明寺の無毒庵を仮校舎とし、仮学校を設立
- 明治 9年 宇江端 2038 に新校舎完成
- 明治 21年 尋常科大野小学校と改称
- 明治 23年 現在地に校舎新築
- 昭和 22年 大野村立大野小学校と改称
- 昭和 28年 新校舎建築 落成祝賀会と併せて、創立 80 周年記念式を挙る
- 昭和 29年 糸魚川市立大野小学校と改称
- 昭和 48年 創立 100 周年記念の式典挙る
- 平成 5年 創立 120 周年記念の式典挙る
- 平成 12年 新校舎建築
- 平成 15年 創立 130 周年記念の式典挙る
- 平成 19年 キャリア教育文部科学大臣賞受賞
- 平成 25年 創立 140 周年記念の式典挙る
- 令和 2年 河川功労者全国表彰

(2) 教育課題

- 自ら考える力の育成と確かな学力の定着
- 豊かな心と共感的な人間関係づくり
- いじめ・不登校ゼロ
- 体力の向上と健康な生活習慣の確立
- 郷土を大切にする教育の推進

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

ひとりで(自立) みんなと(共生) さらに(挑戦)

(2) 重点目標

- 友達と学び合い自分の考えを深める子の育成
- 自分も相手を大切にしかかわり合う子の育成

○望ましい生活習慣を身に付け、楽しく体つくりにはげむ子の育成

(3) 重点目標達成のための方策

- 学びを支える基礎学力の定着（学力向上といがわプランの推進）＜自立＞
主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善＜共生＞
家庭と連携した学習習慣の形成＜挑戦＞
- 自他ともに大切にする心を育てる道徳・人権教育、特別支援教育の充実＜自立＞
温かく居心地のよい学級づくり＜共生＞
互いのよさを認め合えるような交流の場の設定＜挑戦＞
- 健康な体を育み、運動が楽しいと感じられる授業の工夫＜自立＞
望ましい生活リズムの習慣化＜共生＞
メディアとの適切なかかわり方の啓発＜挑戦＞

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

○主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、ICTを活用して授業改善を推進する。基礎学力の定着と主体的に学ぶ力の育成を図る。

(2) 特別の教科道徳

○道徳的価値について理解し、自己を見つめ、自己の生き方について考えを深め、道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

(3) 外国語活動

○外国語を用いて他とのコミュニケーションを楽しむとともに、自分の気持ちを伝えようと

する態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

○体験活動を中核に置き、仲間と助け合って課題を解決する等、子どもの自立と自主性、自発性を育成する。

(5) 特別活動

○自治的諸活動や集団活動において合意形成を図ったり意思決定したりして、人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、他者と協働して自己実現を図ろうとする態度を育てる。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

○自己指導能力の育成

(2) 具体的な実践の方策（抜粋）

- ①自己決定する場や方法の充実
- ②自己存在感を与える場や方法の充実
- ③共感的人間関係を育む場や方法の充実

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり～ICTを活用して～」

(2) 研究の内容

- 「目指す子どもの姿」を明確にした授業
- ICTを用いた「個の主体的な学び」と「集団の協働的な学び」のバランスを考えた授業

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

○地域素材や地域講師を活用し、ふるさと糸魚川への愛着や誇りの形成・持続可能な発展の視点などの見方、考え方を育成する。

(2) キャリア教育

○他者とのかかわりを通して自分らしさに気づき、夢や目標に向かって努力する力を育てる。

(3) 特別支援教育

○児童一人ひとりの実態を把握し、それに応じた指導方法を工夫・改善することによって、児童に必要な支援を行い、児童のもつ力を高める。

○児童一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、伸ばしながら、自分らしく生きていくための力を育てる。

(4) 学力向上いといがわプラン

- 百ます計算（週4回：集中カタイム）
- 音読（週4回：集中カタイム）
- 漢字練習（週4回：集中カタイム）

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 6
- 養護教諭 1 ○事務主事 1 ○非常勤講師 1
- 教育補助員 2 ○管理員 1 ○調理員 2

8 学校運営協議会

【委員の構成】12名

- 区長、公民館長、主任児童委員、青少協会長、社会福祉協議会代表、保育園長、公民館職員、PTA、校長、教頭

【CSとしての課題】

- 「子どもは大野の宝」を理念とした実践

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
職員出勤・児童登校					
8:15	朝の会				
8:25	集中カタイム (音読・百ます・漢字)	集中カタイム (黙食の場合あり)	集中カタイム (音読・百ます・漢字)	読書・読み聞かせ	集中カタイム (音読・百ます・漢字)
8:45	1限 11 1	1限 21 6	1限 31 11	1限 41 16	1限 51 21
9:30					
9:35	2限 12 2	2限 22 7	2限 32 12	2限 42 17	2限 52 22
10:20	20分休み				
10:40	3限 13 3	3限 23 8	3限 33 13	3限 43 18	3限 53 23
11:25					
11:30	4限 14 4	4限 24 9	4限 34 14	4限 44 19	4限 54 24
12:15	給食				
13:00	休憩	休憩(ロング)	休憩	休憩	休憩
13:40	清掃		清掃	13:45~14:30 5限 45 20	清掃
13:55					
14:00	5限 15 5	5限 25 10	5限 35 15	帰りの会	5限 55 25
14:45	帰りの会	帰りの会	帰りの会	14:40~15:25 6限 48 28	帰りの会
14:55	14:55下校				
15:10	委員会	6限 26 26	6限 36 27	15:30下校	6限 56 29
15:25		15:45下校	15:45下校		
15:40		職員会議 職員研修	クラブ 年6回 70分	15:30~16:15 課外活動 (ト鼓隊・陸上)	15:45下校
15:45		15:45~16:30 課外活動 (ト鼓隊・陸上)			15:45~16:30 ※課外活動 (通学・帰校によって は入れることが有る)
16:05			16:05下校		
16:20			職員終会	16:20下校	
16:45		16:35下校			16:35下校

*通学方法 路線バス 2名 徒歩 48名

糸魚川市立根知小学校



所在地 糸魚川市東中 5121-1

校長 飯田 美輝夫

教頭 永森 幸代

☎ 025(558)2100

fax025(558)2109

Email nechi@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	0	1		1		1	4
男子	1	0	3	1	2	6	0	13
女子	1	0	1	3	6	2	1	13
計	2	0	4	4	8	8	1	26

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

S48 下根知小、上根知小、蒲池小を統合し、根知小学校として開校

H11 9月現在の地へ移転

H14 小滝小、山之坊小を統合。創立30周年記念式典の挙

行。ブランコの設置及び植樹

(2) 教育課題

○学習規律を守り、学習がしっかりできる子どもを育てる。

○地域の人や自然・文化と主体的にかかわり、よりよい生き方を追求できる子どもを育てる。

○誰とでも思いやりの心で関わり、互いのよさを認め合える子どもを育てる。

○めあてに向かって体力づくりや健康づくりに励み、心身ともにたくましい子どもを育てる。

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「考える子 助け合う子 がんばる子」

(2) 重点目標

●自分の考えをもち、課題を解決する子

●自分と相手を大切にし、積極的に関わり合う子

●進んで体を動かし、望ましい生活リズムを身に付ける子

(3) 重点目標達成のための方策

●学習内容の確実な習得のための授業を推進し、家庭学習が確立される取組を工夫して行う。

●児童一人ひとりが「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感できるよう特別支援教育の視点から、個に応じた学習指導を推進する。

●わが糸魚川の郷土根知を学ぶ学習を充実させ、根知に愛着と誇りをもつ心を育む。

●自己肯定感を高め、共感的な人間関係づくりが行えるよう、児童一人ひとりに寄り添いながら、児童同士、さらに地域の人々と主体的に関わる教育活動を実践する。

- めあてをもち、粘り強く心身を鍛えるときともに、望ましい生活習慣が身に付くよう家庭と連携しながら保健指導の充実を図る。
- 全ての教育活動を通じて、生命の大切さを実感させるとともに、家庭や地域と連携した地域防災教育の一層の推進を図る。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、主体的、対話的に学ぶ力を育てる。

(2) 道徳の時間

自己や他者、社会にとって、人として望ましい行動を進んでしようとする態度を育てる。

(3) 外国語活動

外国語による言語活動を通して、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

地域の人々、物、自然と関わり、よりよい自分の生き方を追求する態度を育てる。

(5) 特別活動

学級での話し合い活動や縦割り班活動を通して、自己肯定感を高め、共感的な人間関係の育成を図る。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

誰にでも明るい挨拶ができ、いろいろな人と思いやりをもって関われる児童を育てる。

(2) 具体的な実践の方策(抜粋)

●「明るい挨拶 声かけ合って やさしい言葉」を学校、学級で推進し、いつでも誰にでも明るい挨拶ができる子の育成に努める。

●互いのよさを認め合える温かい学級、学校づくりを進める。

●毎週1回、情報交換会を行い、全職員で児童に関わる情報を共有し、迅速・適切な指導を行う。

●児童の問題行動等の発生時は、担任が一人

で抱え込むことなく、いじめ対策委員会などを開き組織的に取り組む。

- アンケートや教育相談等を定期的実施し、いじめや問題行動の早期発見に努める。
- PTAや地域と連携し、挨拶運動、交通事故防止、非行防止の推進に努める。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的に学び、豊かに表現する児童の育成」
(3年次)

(2) 研究の内容

主体的な学びを実現する課題設定や振り返り、自分の考えを広げ、深めるための対話的な活動の工夫改善を図り、目標の具現化を図っていく。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

特別活動や総合的な学習の時間との関連を図り、地域の自然や人々と関わりながら、体験活動を効果的に取り込み、ふるさとへの誇りと愛着を持つことができるようにする。

- ① 根知の文化ジオパーク
 - ・おててこ舞、七夕飾り、十二社相撲
- ② 根知の自然ジオパーク
 - ・塩の道、根知川、市内ジオサイト

(2) キャリア教育

様々な人との関わりや体験活動を通して、よりよい自分の生き方を追求する態度を育てる。

- ① 低学年・・・係活動の実施、地域の人との触れ合い活動
- ② 中学年・・・地域の伝統芸能を引き継ぐ人との交流活動
- ③ 高学年・・・根知で働く人との交流、福祉に関する活動を通した生き方学習

(3) 特別支援教育

- ① 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援と個別の指導計画を基にした指導方法の工夫・改善に努める。
- ② 全教職員の情報共有と保護者や関係機関との連携を図り、途切れない指導・支援を推進する。

(4) 学力向上といがわプラン

① 実施の概要（時間、内容）

陰山メソッドに基づいた学習を朝学習（Mスタ）に位置付けて取り組んでいる。月から金曜日までの週4回、音読・ます計算・漢字に取り組む。

② 子どもの様子

継続することで、漢字の正答率が上がり、ます計算のタイムも縮まっている。また、朝

学習（Mスタ）の流れや学習の仕方に慣れ、正確さや集中力が高まってきている。

(5) クラス会議を中心とした学級経営の充実

自己肯定感、所属感を高めるための学級経営を充実させる。クラス会議を活用することで一人ひとりが意欲的に学習し、楽しい学校生活を送ることができるようにする。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 3 ○講師 1
- 養護助教諭 1 ○事務主任 1 ○管理員 1
- 調理員 2

8 学校運営協議会

【委員の構成】12名

- 振興協議会長、社会福祉協議会支部長、学識経験者、PTA会長、公民館長
- 学校応援隊他

【CSとしての課題（熟議の課題）】

- 根知っ子の実態と目指す姿
- 地域と学校の持続可能な連携体制について

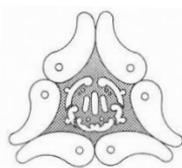
□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:10~ 8:25	朝学習 (Mスタ)				
8:25~ 8:40	朝の会				
8:40~ 9:25					
9:30~ 10:15					
10:15~ 10:35	根知っ子タイム (20分休み)				
10:35~ 11:20					
11:25~ 12:10					
12:10~ 12:55	給食				
12:55~ 13:40	昼休み				
13:40~ 13:55	清掃				
13:55~ 14:40					
14:40~ 14:55	帰りの会				
14:55~ 15:40					
	放課後、課外活動等				

*児童下校 5限時 15:00 6限時 16:00

*通学方法 スクールバス 14名 徒歩 12名

糸魚川市立田沢小学校



所在地 糸魚川市田海 13-2
校長 浅野 一清
教頭 磯野 正人
☎ 025(562)2215・2216
fax025(562)2216
Email tazawa-es@itoigawa.ed.jp

2022 年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級	1	1	1	1	2	1	3	10
男子	14	9	17	13	24	11	8	96
女子	11	12	16	18	18	12	6	93
計	25	21	33	31	42	23	14	189

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

- 昭和 38 年 田海小学校と須沢小学校が統合し、田沢小学校が開校
- 平成 18 年 新校舎完成、旧校舎解体工事
- 平成 20 年 体育館、プール完成、竣工式
- 平成 24 年 県小研「総合的な学習の時間」研究大会
- 平成 25 年 創立 50 周年記念

(2) 学校課題

- 自らの人生を切り拓き、未来社会を創造する力の育成

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

すすんで取り組む子

(2) 重点目標

- 確かな学力と学習意欲の向上
- 豊かな心と好ましい人間関係の育成
- たくましい体の育成と生活習慣の定着

(3) 重点目標達成のための方策

- ・ 学力向上いといがわプランで示された音読、まず計算、全漢字学習による基礎学力の定着・集中力の向上
- ・ 中学校区や家庭と連携した「家庭学習習慣」定着の取組の推進
- ・ 「市指定：授業改善5つのポイント」を意識した授業改善の実施
- ・ 地域とのかかわりを重視した「生活・総合的な学習」の推進
- ・ 自他の「命」を大切に作る心の育成
- ・ 「役に立つ喜び」をもたせる活動の推進による自己有用感の育成
- ・ 日常的なあいさつや返事、感謝の言葉の奨励
- ・ いじめをせず、互いを認め合うための振り返りの場の設定
- ・ 健康的な生活習慣づくりに向けた「生活リ

ズム改善」「メディアコントロール」の取組の実施

- ・ 保護者と連携した、電子メディアへの接触時間のコントロール

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

主体的・対話的で深い学びを実現させる授業改善に取り組む。

(2) 道徳科

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

(3) 外国語活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育てる。

(5) 特別活動

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成する。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

いじめを許さない意識の醸成や不登校の解消を目指した、認め合い、支え合う集団づくり

(2) 具体的な実践の方策

- ・ 自校のいじめ防止基本方針に基づいて、い

じめ等の未然防止や早期発見、組織的対応を行う。

- ・生徒指導支援員の活用を進めながら、hyper-QU の分析結果をもとに集団づくり、人間関係づくりをすすめる。

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

安心して話し、落ち着いて聞く、しっかりと学べる学習環境づくり

(2) 研究内容

一昨年度から2年間、「主体的・対話的で深い学びを実現させる授業改善」をテーマに校内研究に取り組んできた。また、昨年度は、「自分の考えを分かりやすく伝え合う子ども」を副題として、考え、話すことに注力した。こうした2年間の取組の成果は、子どもたちの考え、話す力の向上につながった。

一方で、相手の話しを聞くことが課題として挙げられた。落ち着いて聞く、主体的に学ぶ姿勢が、伝え合う子どもの実現に必要であることが分かった。また、学年によって学ぶ姿勢についての指導に差があり、職員間での共通理解が必要であることも明らかになった。

そこで、今年度は、学習規律である「田沢スタンダード」を策定し、「安心して話し、落ち着いて聞く、しっかりと学べる学習環境づくり」を目指して全職員が共通の指導を行っていく。

具体的には、毎週行う児童理解の会で、各学級の学びの様子、指導における問題点、解決策等についての情報共有を行う。共有した情報を基に、研究推進委員会が、指導法の改善や共通指導項目についての議論を行い、全体へフィードバックする。また、管理職を始めとする級外職員も子どもたちの学ぶ様子を参観し、どの学年も同じように学べる環境づくりへの情報提供を行うことで、子どもたちが安心して話し、落ち着いて聞く、しっかりと学べる学習環境づくりを行っていく。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

- ・ジオパーク学習を年間指導計画に位置付け、体験的・探究的学習を実施

(2) キャリア教育

- ・「キャリアパスポート」の活用と、小中連携を考慮した取組の推進
- ・園と学校、家庭、地域及び事業所と連携した地域参画型のキャリア教育

(3) 特別支援教育

- ・園・学校体制で取り組む特別支援教育
- ・校内委員会を中心とした、一人ひとりの子どもに寄り添った支援の充実
- ・個別の指導計画に基づいた教育活動
- ・特別支援学校及び通級指導教室等の関係機関との連携強化

(4) 学力向上いといがわプラン

- ・基礎学力の定着と集中力の向上を目指した朝学習での音読とます計算、全漢字学習（2～6年）の重点化

(5) GIGA スクールいといがわ

- ・ICT 支援員・情報教育推進員を中心とした iPad 活用方法の校内研修と情報共有
- ・保護者・地域の情報リテラシーを高める講演会や研修会の実施

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 13 ○講師 1
- 養護教諭 1 ○栄養教諭 1 ○主事 1
- 学校司書 1 ○教育補助員 4
- 管理員 1 ○調理員 7

8 学校運営協議会

【委員の構成】15名

- 後援会長・副会長 ○公民館長・自治会長
- 関係行政機関職員 ○民生委員児童委員
- 防犯パトロール員 ○PTA

【C・Sとしての課題】

地域を支え背負う人育て目標の実現のため、地域、学校、家庭が果たすべき役割を見定め、実行できる体制を整える。

□□ 日課表 □□

	月	火	水	木	金
8:15~ 8:25	朝の会				
8:25~ 8:40	朝学習	朝学習	朝学習	朝学習	読書
8:40~ 9:25	1限				
9:30~ 10:15	2限				
10:15~ 10:35	20分休み				
10:35~ 11:20	3限				
11:25~ 12:10	4限				
12:10~ 12:55	給食				
12:55~ 13:40	昼休み				
13:40~ 13:55	清掃	ロング	清掃	ロング	清掃
14:00~ 14:45	5限				
14:50~ 15:35	6限		帰りの会	6限	
15:35~ 15:45	帰りの会			帰りの会	

*児童下校 5限後 15:00、6限後 15:45、

*通学方法スクールバス 11名、徒歩 178名



糸魚川市立青海小学校

所在地 糸魚川市大字青海 382 番地

校長 秋山 伸宏

教頭 澤田 隆

☎ 025(562)2027

fax025(562)2169

Email omi-es@itoigawa.ed.jp

2022年度学級編制

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	合計
学級	1	1	1	1	1	1	2	8
男子	5	8	10	7	9	9	6	54
女子	14	13	7	4	9	7	3	57
計	19	21	17	11	18	16	9	111

1 学校の概観

(1) 学校の沿革

M6 柏崎県学区青海村分校として開校

M34 村立青海尋常高等小学校と改称

S22 町立青海小学校と改称

S30 大沢分校開校

S43 大沢分校廃止

S47 新校舎(現校舎)落成式

創立100周年記念式典挙行

S50 橋立小学校統合

H14 耐震補強及び大規模改修工事

H16 糸魚川市立青海小学校に改称

H17 歌外波小学校統合

文科省指定研究「人権教育」

「人権教育研究」発表会(11.29)

H30 市振小学校統合

(2) 教育課題

自分も友達も大切に

課題を意識して、学習に集中する。

進んで思いや考えを伝え、学び合う。

進んで身体を鍛える。

基本的な生活習慣を身に付ける。

2 本年度の教育課程

(1) 教育目標

「心をこめて かかわる子」

(2) 重点目標

●思いやりのある子 ●よく考える子

●たくましい子

(3) 重点目標達成のための方策

●人権や命を尊重し、互いに認め合い、支え合う人間関係を築くことができるコミュニケーション力を育成する。

●基礎・基本の定着を図り、思考力・判断力・表現力を育成する。

●基本的な生活習慣を、自ら考え実践し、心身の健康を維持増進しようとする意欲や態度を養う。

3 学習指導の大綱

(1) 教科指導

子どもが生涯学び続けていく基盤を築くために、学ぶ楽しさや達成感が実感でき、基礎・基本を確実に身に付けることができる授業づくりに取り組む。

(2) 特別の教科 道徳

人権、生命を尊重し、互いに認め合い、支え合おうとする実践的態度を育成する。

人権月間での学びを発表したり、参観してもらったりする等、保護者や地域との連携を図る。

(3) 外国語活動・外国語科

聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育てる。

(4) 総合的な学習の時間

進んで地域にかかわり、探求課題を見付け、解決することを通して、学んだことを分かりやすく表現する力を育てる。

青海、歌外波、市振地域の素材と繰り返し関わる。

(5) 特別活動

多様な他者との集団活動に自主的・実践的に取り組み、学校生活や人間関係をよりよく形成するとともに、自己実現を図ろうとする態度を養う。

4 生徒指導の大綱

(1) 指導の重点

一人ひとりの子どもが学校生活において充実感が得られるよう、個に応じたきめ細かな指導に努める。

(2) 具体的な実践の方策(抜粋)

●基本的な生活習慣の定着を図る指導の徹底

●児童の気持ちを受け止める、共感的関係の構築

●「生活アンケート」を活用した教育相談の実施

●定期的な児童理解研修に基づく情報共有と、全職員統一した指導

●教育相談員やスクールカウンセラー、生徒指導支援員と連携した多角的な児童理解の推進

●人間関係形成力の育成に向けた継続的な指導

5 校内研究の概要

(1) 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現（3年次）
 —「自覚育成」を促すまとめ・振り返りの在り方とは—

(2) 研究の内容

昨年度は、「主体的・対話的で深い学び」の実現（2年次）を主題とし、課題解決に向かう「対話的」な関わりの構築をテーマに研究を進めた。

単に考えを確認することや手順を共有するためのやり取りにとどまらない関わり合いについて追究し、成果を挙げたものの、授業のゴールとなる終末部分で子どもたちが学んだことを自覚化することに課題が残った。

今年度は、学んだことを整理・分類し、児童の納得感・達成感のある「まとめ」につなげ、自身の変容や学びの自覚化を促す「振り返り」に焦点を当て、学びを深める姿を追究する。

6 重要な教育活動

(1) ジオパーク学習

総合的な学習の時間を通じて、糸魚川世界ジオパークの地理的な特徴や自然の豊かさに気付くようにする。

- ① 3年生…青海，市振地域に伝わる昔話や伝承
- ② 4年生…青海川流域を中心とした岩石
- ③ 5年生…名引山近隣の動物や植物
- ④ 6年生…青海地域と能生地域との地層の比較

(2) キャリア教育

体験・学習活動を通して、ふるさとへの愛着や誇りと、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育む。地元企業の学習を小中連携して取り入れる。

- ① 低学年…生活科での飼育当番や野菜の世話
- ② 中学年…社会科見学を通じた地域理解，職業理解
- ③ 高学年…環境保全を中心とした奉仕活動，福祉施設訪問での職業人理解

(3) 特別支援教育

的確な実態把握に基づく個に応じた指導の充実を図り、校内委員会での情報共有と個別の指導計画の見直しを推進する。

(4) 学力向上といがわプラン

1～6年生は朝スキル（月・火・木・金 8:15-8:30）で、音読・100ます計算・漢字（前倒し）学習に取り組む。

7 教職員の構成

- 校長 1 ○教頭 1 ○教諭 10 ○養護教諭 1
- 栄養教諭 1（田沢小学校と兼務） ○事務主事 1
- 教育補助員 4 ○調理員 3
- 言語通級指導員 1 ○管理員 1

8 学校運営協議会

【委員の構成】14名

主任児童委員、民生児童委員、公民館長、交通指導員、幼稚園長、PTA 会長・副会長、校長、教頭、教務

【CSとしての課題（熟議の課題と取組）】

- 家庭・地域と目指す子どもの姿や目標の共有化
- 地域素材を活かした教育活動の推進

□□ 日課表 □□

開始時刻	教時	月	火	水	木	金
8:15	始業	スキル	スキル	授業	スキル	スキル
8:30	朝の会			朝の会		
8:40						
9:25	1限					
9:30	移動			準備・移動		
10:15	2限					
10:35	遊びタイム			遊びタイム		
11:20	3限					
11:25	移動			準備・移動		
12:10	4限					
12:10	給食					
12:50	起床			起床(休憩)		
13:35	5限	清掃		清掃/集会		清掃
13:55	移動	準備・移動		準備・移動		準備・移動
14:20	5限					
14:25	6限	14:40 帰りの会	14:40 準備・移動	14:20 準備・移動	14:20 準備・移動	14:40 準備・移動
14:45	6限	14:45 下校	14:45 下校	14:40 準備・移動	14:40 準備・移動	14:40 準備・移動
15:10	6限	15:10 帰りの会	15:10 帰りの会	15:10 帰りの会	15:10 帰りの会	15:10 帰りの会
15:30	6限	15:30 帰りの会	15:30 帰りの会	15:30 帰りの会	15:30 帰りの会	15:30 帰りの会
15:40	6限	15:40 下校	15:40 下校	15:40 下校	15:40 下校	15:40 下校
15:50	6限	15:50 下校	15:50 下校	15:50 下校	15:50 下校	15:50 下校
16:00	放課後					
16:10	1便	1・2年(全校)	1・2年		1・2年(全校)	1・2年
16:20	2便	3・6年	3・6年	1-6年(全校)	3・6年	1-3年
16:30	3便					
16:40	4便					
16:50	5便					
17:00	6便					
17:10	7便					
17:20	8便					
17:30	9便					
17:40	10便					
17:50	11便					
18:00	12便					
18:10	13便					
18:20	14便					
18:30	15便					
18:40	16便					
18:50	17便					
19:00	18便					
19:10	19便					
19:20	20便					
19:30	21便					
19:40	22便					
19:50	23便					
20:00	24便					
20:10	25便					
20:20	26便					
20:30	27便					
20:40	28便					
20:50	29便					
21:00	30便					

*児童最終下校 月・水・金(6限) 15:45

火・木(6限) 15:25

クラブ活動下校 15:50

*課外活動下校 火: 16:30 木: 15:45

*通学方法 スクールバス 9名 路線バス 9名